



平成25年6月15日



## まつかわ百景 ⑦

### 「黄色いバラ」

切り集められた選花前のバラ。斬新な色合いの花の多くは新品種だ。  
あまり知られていないが、父の日には黄色いバラを贈る習慣があるそうだ。

2	3	4	5	6	7	8
面	面	面	面	面	面	面
デジタル防災行政無線	戸別受信機	JR伊那大島駅をたずねて	みんなで仲良く	青年の家だより	まつかわ寄席・すぼっと	子どもの詩・短歌・川柳

昔、人は森の中で生活をしていました。現代の人工的な環境での生活は、本来の人間の生活とは違い、大きなストレスを与えています。森林セラピーはこのような環境からのストレスを改善するという点からも大きな効果を持っており、人々の

心は癒すといわれています。「五感」を働かせ、森の中で耳や目、鼻、手足、味覚等のアンテナを研ぎ澄ませて、木々の息吹や風のざわめきを感じ快適感を全身で楽しむ事ができるでしょう。

## 主張

### 「およりの森」で森林セラピーを

私は、清流苑の職員として勤務しています。森林セラピー基地の認定を受けることとなり、この森林を案内する「セラピーガイド」の免許を取得しました。ガイドの役割は、訪問する利用者に森林環境が持つ快適性効果を引き出すためのアドバイスや森林浴効果が高まるような散策や運動を行うことです。

今年度は、散策コースの整備や実験の効果を示す案内板の設置など準備期間の年となりますが、来年の今頃、新緑の季節となる頃には、新しい「およりの森」をご案内できることを楽しみにしています。

森林セラピーガイド

宮尾 竜平

### これが戸別受信機



あなたの家にはもうありますか？

町のいたるところに建っている防災無線。その放送を各戸でも聞ける「戸別受信機」が、今年度、町から1戸1台が無償で配布されています（申し込みをした家のみ）。また、広報5月号では「戸別受信機」「放送方法」等について知らされています。 「防災」無線だけに、いざというときのため、その使い方を覚えておきたいものです。そこで、編集部ではその使い方について調べてみました。



# どっちゃん使って使うの？ 防災行政無線 戸別受信機



### 普段は電源を入れておだけ



電源スイッチを「入」にする

通常は家庭のAC100Vから電源をとればOK  
※アンテナを伸ばしておきましょう

### 緊急放送は最大音量



音量調節はココ  
「最小」にしてあっても緊急放送時は最大音量で流れる

いろいろ  
ボタンが  
ありますが??



通常放送でも、受信中に録音ボタンを押すと、録音できる。録音したものを聞くときは再生ボタンを押す。

緊急放送は自動的に録音される。再度確認したいときなど、ボタンを押すと再生される。

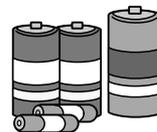


停電の時や、電源コードを抜くと自動的に点灯する  
ボタンを押せばON/OFFできる



いざというときに使えるよう、乾電池の点検は忘れずに！

避難するときなどは電源コードを抜いて持ち運びができる。ライトも点灯する。



※乾電池の残量に注意!!

**受講生募集中 今やる講座!!**

『防災について真剣に取り組む』講座

～30年以内に大きな地震がくるかもしれないと予測されています～

第1回 7月23日(火) 午後7時から 松川町公民館

全5回の講座 原則、登録制ですが途中参加も可能です

内容 個人・家庭の備え 自主防災会活動 避難所運営

防災食 長期保存食 野菜不足になる避難所生活

お問合せ・申込み先:松川町公民館 036-2622

**防災行政無線  
戸別受信機のこととは  
役場 総務課  
36-7021**

今回紹介したものは一部ですが、緊急時にあわてないよう家族みんなで使い方を確認しておくといいですね。  
また、避難時の行動や集合場所など改めて確認し、防災だけでなく減災にもつなげたものです。



昨年、下伊那では県・元善光寺・市田・そして伊那大島の4つのJR飯田線駅が無人駅になるという話が持ち上がりました。これを受け協議の結果、松川町では、4月1日よりJRからキップ販売業務を受託し、職員の配置を決定しました。

今回は、伊那大島駅職員となられました金山和義さん（北名子）と鈴木英雄さん（北外垣）に、日頃のお仕事の様子やお話をうかがって来ました。

お2人はもともJRの職員で、金山さんは主に司令室勤務、鈴木さんは改札業務や車掌さんを長くされていたそうです。



金山さんと鈴木さん

入り口をくぐるとキップ売り場では鈴木さんがお客さんの対応をされていました。昼間に駅に来るのは高校生以来で、懐かしい駅の構内をぐるりと見渡し、しばし思い出にひたっている、向かいのホームでは金山さんがせっせと花壇の手入れをされています。この日は休日の午前中ということで、初夏のさわやかな日差しの中、なんとも穏やかな雰囲気でした。

JRのOBであるお2人ではありますが、今回は委託職員ということで少し勝手が違うそうです。

というのも、キップの販売が主な業務で、本来JRの駅員さんがするような、たとえば乗り降りの時にキップを確認したり回収したりすることや、お年寄りや車椅子での乗り降りの補助などが契約上できかないのだそう。

「荷物の多いお年寄りなん



お客さんへ切符を売ります



きれいに整備された花壇

でも気持ちよく利用してもらえらるようにと、毎朝のそうじは欠かせないそうです。特にお手洗いは夜間も電気がついて

かが来ると、ついつい手え出してやりたくなるけど、ここのでやっちゃうと他のところではやつてくれん、なんて事になっちゃうで出来んのな。」と、はがゆい心情をお話くださいました。

それでも、みなさんに少しでも気持ちよく利用してもらえらるようにと、毎朝のそうじは欠かせないそうです。特にお手洗いは夜間も電気がついて

ているため、朝には虫の死骸がすごい量になるようで、これから夏になるにつれて増えていくと・・・（聞いているだけで鳥肌がっ！）

花壇のお花も綺麗に手入れされていて今の時期、色とりどりに華やいでいました。

JR飯田線での利用者減少によって無人化の危機にさらされていた我らが松川町の伊那大島駅でしたが、地域の声を受け自治体がJRに要望し飯田駅管理の下、簡易委託駅として新たにスタートしました。

常に人がいる安心感ももとより、利用者との交流や観光客の案内など、無人では成し得ない地域の大切なスポットが存続できる事は利用者はもちろん、地域にとってもよかったです。



子供福祉教室「あいむ」の方々に会いしました

うれしかったこと

中央小3年 溝口 柚花

わたしが友だちに言われてうれしかった言葉は、「ありがとう。」です。わたしが2年生のとき、てっだつたらありがとう。といわれたのが、うれしかったです。わたしもてっだつてくれたら、かならず「ありがとう。」と言いたいです。後うれしかったことは、「がんばれ」ということばです。なぜかというとなわたしが、2年生のとき、はしっているとき、ほかの子は、「おそいね。」とわかっていたけれど、1人の子が、「がんばれ」といつてくれたのでうれしかったです。

友だちに教えてもらって

中央小3年 澤村こころ

わたしは、わこちゃんとみゆちゃんとあそびました。何をしてあそんだかというのと、てっぼうやわたりぼうやのぼりぼうをしました。わたしはてっぼうでさか上がりができないので、みゆちゃんとわこちゃんが教えてくれました。わたりぼうは、わたしはさい後まで行けないけど、少しできたら、わこちゃんが「こ

ちゃん、すごい。できるようになったんだ。」と言ってくれてうれしくて、もう1回やったら、さい後まで行けてすこくうれしかったです。こんど、わこちゃんとみゆちゃんに教えてもらって、さか上がりががんばってみたいと思います。

いっしょやさしいかんたんくん

中央小3年 竹村 寛人

おにごっこをしているときに、ぼくはころんでしまいました。



人権問題を考える  
みんなでよく仲良し

その後、教室へもどつたら、かんたくんがぼくに、「ひろくくんげがだいじょうぶ？」ときいてくれました。そのとき、かんたくんはやさしいなと思いました。ありがとうと思いました。こんどはぼくがやさしくするばんだなど、思いました。



生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その二十二

春の自然観察会

春の花探偵団

春になると、青年の家周辺では、いろんな草や木たちが自分の存在を主張するかのようになり、花を開きます。そこで、当所では春の自然観察会を5月3日に開催して、体を通して春を感じてもらいました。最初の活動は春の花探偵団という活動で、与えられたミツシヨンに記載された花を探しに、友達や家族で森や野原に飛び出していきました。「黄色い花を3種類集めてきなさい」という課題ではヤマブキ・ミツバツチグリ・タンポポ、「紫の花」ではヒメオドリコソウやムラサキサギゴケ・ムラサキケマン・アケビ・ノブドウ・植物」ではアケビ・ノブドウ・スイカズラなどが集まりました。最後にみんなで集めてきた植物を持ち寄って、種名を調べたり、特徴を見つけたりしました。参加者は自分で探した植物はきつと覚えていくことができるでしょう。

世界で唯一の植物図鑑

季節の移ろいととも、花の咲く植物は変わっていくので、今精一杯咲いている春の花を何とか記録しておきたいと考え、皆さんにデジタルカメラを使って写真を撮っていただきました。その後、皆さんからデータをお借りして早速印刷し、それを使って図鑑作りに取り掛かりました。まず、自分の図鑑に載せたい写真を選んで好きな形に切りとり、ノートの好きな位置に貼り付けます。そして、種名・撮影日・撮影場所などを記入し、最後に自分が発見した特徴や気づいたこと感じたことなどを記載してそのページができあがります。それを繰り返して数ページの「マイ植物図鑑」が完成しました。取り上げる種類、切り取る形、貼る位置、記入する内容などは一人ひとり異なるので、まさしく世界でたった一つの植物図鑑です。参加者の中には「楽しかったので、家に帰ってからも続きを作りた。」と言っておられた方がいたので、今ではページが増えていることでしょう。

未来を夢見ての植樹



私の植物図鑑

最後に、参加された皆さんにハナノキ・トチノキ・イロハカエデ・ブナ・キハダ・ヒトツバタゴ・ダイオウグミなどの苗を各自1本ずつ青年の家森に植えていただきました。今はアカマツやヒノキ・杉がまばらに生えている疎林ですが、10年後には枝葉を広げた広葉樹の明るい林が育っていることを期待したいと思います。

このほかに昼食時にタラノメやアザミ・コシアブラの天ぷらやギボシの酢味噌和えなども味わい、全身で春を楽しんだ自然観察会でした。



山菜の味を楽しむ

# 第22回松川町混合ダブルス バドミントン大会

6月9日、町民体育館にて  
松川町混合ダブルスバドミ  
ントン大会が行われました。  
結果は次のとおりです。

優勝	宮下 雄樹	3位	今井 和芳	優勝	中川 昌弘
準優勝	宮下 奈津美	3位	林 暁	準優勝	中川 オルガ
	(桑園東部B C)		(福与B C)		(上片桐B C)
優勝	木村 壮一	3位	市瀬 康寛	優勝	米山 正彦
準優勝	原 万里子	3位	木下 布美子	準優勝	久保田真奈
	(体協B C)		(上片桐B C)		(ジョイフルB C)
優勝	宮下 佳浩	3位	佐藤 千佳	優勝	桜井 誠
準優勝	宮下 千佳	3位	佐藤 千佳	準優勝	下澤 智子
	(上片桐B C)		(上片桐B C)		(上片桐B C)



## 第2回高齢者講座 楽しい運動①

～コーディネーショントレーニング～

囲碁ボール・ふき矢～

参加者募集

日時：7月9日(火)午後1時30分～3時頃

※10分前までにお集まり下さい。

場所：町民体育館トレーニングルーム

参加費：無料

持ち物：タオル・飲み物・上履き(運動ぐつ)

申込み・締切り：7月5日(金)

お問合せ・申込み先：松川町中央公民館

TEL36-2622

### 当日のプログラム

#### コーディネーショントレーニング

いろいろな動きにチャレンジして、脳と神経の回路を刺激することで、「自分の体を巧み動かす能力」が総合的に身につきます。転倒予防など「自分の体を守る」ことにも効果があります。

#### スポーツ吹き矢

胸式・腹式呼吸による健康法が自然にでき、また、的に矢を命中させた時の爽快感もある楽しいスポーツです。

#### 囲碁ボール

ゲートボールに囲碁の面白さをプラスした、だれもが簡単に楽しめるニュースポーツです。本年度、囲碁ボール盤が2つになり、多くの方が楽しむことができます。

## 松川町少年少女体操・スポーツ総合クラブ 学習旅行 参加者募集

期 日：8月2日(金)

日 程：7:30 中央公民館駐車場 発

7:30～18:00 山梨県北杜市

コース：(国蝶) オオムラサキ自然公園 → ハイジの村  
→ 国立天文台野辺山(電波観測所)

参加費目安：1人3,000円(同世帯2人目からは2,500円)

定 員：28人(23人目以降は補助席となります。)

(参加費の入金をもって先着順に受付)

お問合せ・お申込先：

川又一郎 電話・FAX 36-5728

Eメール c-yilang@rainbow.plala.or.jp

※次の時間帯は、都合によりお電話はご遠慮ください。(FAXは可)

月・水・木・金：15:30～19:30

火：15:00～21:00



## 自主企画講座「日中文化教養講座」 第1回研修旅行 参加者募集

期 日：7月20日(土)

日 程：7:30 中央公民館駐車場 発

7:30～18:30 山梨県北杜市

コース：浅川伯教・巧兄兄弟資料館 → 金田一春彦ことばの資料館 → ポールラッシュ記念館

参加費目安：1人3,000円(お子さん・お孫さんの参加費については、ご相談ください。)

定 員：14人(参加費の入金をもって先着順に受付)

家族・知人を誘ってのご参加も歓迎です。

お子さん・お孫さんに楽しんでいただける

企画も用意しています。

お申込先：松川町中央公民館

電話 36-2622



# まつかわ寄席 春風亭愛橋 独演会

6月1日(土) 町民体育館トレーニンブルーム

笑いは健康のもと。

本場の落語を松川町で、しかも無料で楽しめるのが、毎年恒例のまつかわ寄席です。

今回は春風亭愛橋さんをお招きしての落語独演会。そのお顔に見覚えのある人もいるのでは？5年前まで毎年まつかわ寄席で落語を披露していた昔々亭健太郎さん、その人です。当時は「二つ目」でしたが、去年の5月に真打に昇

平成25年度の上片桐花いっぱい運動が、5月19日(日)に行われました。毎年恒例となつてきれいな花で目を楽しませてくれているこの事業ですが、今年度から中心となる上片桐

進し、同時に名前も改め、今回堂々の再来町です。もちろん、この日の前から知っていた方も多く、久しぶりの健太郎さん改め、春風亭愛橋さんの落語を楽しみにされていた方も大勢いました。

愛橋さんは駒ヶ根市出身。同じ伊那谷の出身という縁でまつかわ寄席にでるようになりましたが、自分だけの落語会を行なったのはまつかわ寄



席が初めてだったそうです。そのこともあり、久しぶりの松川町では、真打昇進のお礼のあいさつもたっぷりしていただき、腕を上げたその嘶に会場が盛り上がりました。

「くだに」「くだら」と、この日は伊那谷の方言満載の愛橋さん。楽しく暖かい落語独演会となりました。

農道を通る際には、作業を行った皆さんのことも思いながら、美しい花壇をぜひ楽しんでください。

## すぽっと 農道沿いに彩添えて

### 上片桐花いっぱい運動

花いっぱい推進協議会の代表が上片桐区長から上片桐公民館館長に代わりました。そして当日は区会、上片桐地区公民館、各自治会、地元女性グループなどの団体の協力を得

実際の作業として、畝を作りながら石を取り除き、マルチを敷いて、植え付けを行いました。みなさんときばきと素早く作業しながらも楽しんでました。



## 家族の詩

北小6年 松沢直香  
母がいます  
おこります  
父がいます

おこります  
祖父がいます  
ケンカをします  
祖母がいます  
ケンカをします  
兄がいます  
毎日ケンカをします  
もつやだと思えます  
でも  
それぞれに  
いい所があります  
私の家族は  
幸せです

## 優勝のトロフィー

北小6年 山岸登生

今年  
キャプテンになった  
チームの中でまとめる役  
声を出して盛り上げる役  
すごく大変だ  
でも この前の大会で  
優勝した  
初優勝だ！  
ほくはキャプテンになってこ  
んな思いをするなんて夢のよ  
うだ  
それから前より  
すごく野球が楽しくなった  
また  
優勝したい  
トロフィーを  
高く持ち上げたいな

## 短歌

孫  
細江シヅエ(堤原)

雛壇の前に二人の孫と居る  
この情影を誰が整えし  
山桜の温泉郷にくつろぎぬ  
子の気遣いを受けつつ初夏へ  
足をひき肥満の犬と散歩する  
そのかたわらを孫飛び回る  
東北をテーマに踊る舞台なり  
かの日のたちて涙さそわる

## 川柳

アナウンスに誘われつつ  
幕あけをときめきて待つ孫の初舞台  
梅雨なのに  
なんでこの時期 中体連  
ひとひねり  
何もうかばず 首ひねり  
疲れ飛ぶ  
幼き娘の 「おとうちゃん!!」  
心地よく  
袖から袖へ 初夏の風  
投資マネー  
血圧も気分も 乱高下

# 声

## 忘れない防災意識 天竜川上流水防演習

細田 勲(名子中部)

天竜川上流水防演習が26日、飯田市川路天竜川河川敷であった。国土交通省中部地方整備局指導のもと県内の天竜川で開かれるのは2001年以来、12年ぶりということ

今年度の演習では、台風接近で活発となった梅雨前線の影響で猛烈な雨が降り、大規模な土砂災害が発生したとの想定のもと、様々な被害状況を想定し、避難指示や、情報収集等の被害軽減対策及び、決壊した堤防の緊急復旧等の演習を実施した。我々消防団は、水防工法実演として鉄線蛇かご工を実施。針金を筒状に編んで中に石を詰める作業を、団員全員で力を合わせ水防技術を駆使し堤防補強という作業に取り組んだ。その他にも30近い訓練が繰り広げられ約2000人が思いを1つに同じ目標に向かって訓練できた



鉄線蛇かご工の実演

震災から私たちのふるさとを守るんだという決意を新たに消防団活動にこれからも取り組んでいきたいと思う。

大東 洋文(檜原)

毎年水防月間に合わせて各地で水防訓練が行われていますが、過去に多くの豪雨災害に見舞われてきた天竜川上流域では、今回12年ぶりに消防団をはじめ関係団体が参加して『天竜川上流水防演習』として行われました。

メイン会場となった飯田市川路の河川敷には、約2000人の参加者が集まりました。まず、過去の災害の様子を映像で見ながら学び、その後上・下伊那地域に断続的に強い雨が降り続けているという想定でそれぞれの演習に入っていました。

会場には、ヘリコプター、自衛隊の特殊車両等もあり、演習が始まるとヘリコプターによる上空からの調査や、自衛隊により、実際に仮設の橋を架け、災害を想定して多くの工程が行われました。

松川町消防団は、鉄線蛇かご工の作業に参加しました。急流による堤防の浸食を防ぐため、鉄線でかごを造り、その

中に石を詰め堤防沿いに設置していきました。

他にもシート張り工や月の輪工、積み土のう工など洪水を想定していくつもの作業を協力して行いました。従来からの作業に加えて、ラジコンヘリを使った上空からの被災地調査や3Dスキャナー・3D画像システムを搭載した車両など最新の技術も見ることができました。

多くの豪雨災害に見舞われた地域だからこそ、過去の災害を学び非常時に備え普段からの地道な訓練が重要だということを知ることができました。



ヘリコプターによる上空からの調査

### 2022年

子どもたちがまだ保育園のころ、桃が大好きという一言で桃づくりを始めました。これといった果実栽培をしたことの無い私は、本と技術員の指導だけを頼りに「あかつき」という品種を植えた。しかしこれが意外とハマって子ども「おいしいね」という笑顔が楽しみでせつせと15年も桃を作ってきた。

しかし子どもも20歳を過ぎ、かわいさはないが大学の夏休みは手伝いに帰ってくる。どんな生き物も育った環境の匂いや味を忘れることがないということはやはり本当だ。伝統食や伝統行事が或る地域は子どもも帰郷率が高いと聞く。この地域にはおいしい果実や野菜が豊富にとれるのに、後継者不足の声は高まるばかりだ。土の匂いを嗅ぎ、収穫の喜びの味を子どもたちや家族と共に味わう。

この地域に暮らしてみんなにその喜びを体験してもらいたいと思うのは私だけではない筈だ。なかなかプロの農家の様に段取り良く農作業はできないがこの頃はそれなりにおいしい？桃が作れる自信がようやくついてきた。今後は孫(まだいないが)に「おいしいね」と言われる様「地域の匂いや味」を作っていきたいと相変わらず本を見ながら桃畑に通う私です。

中村 彰

公民館報  
「まっかわ」  
第 596 号  
平成25年6月15日

発行者 松川町公民館 登部  
責任者 矢澤 公民館編集部  
編集人  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)